令和３年３月 ２５ 日

地域密着型サービス

令和２年度　第６回運営推進会議議事録

運営推進会議の開催状況について

法人名・事業所名	社会福祉法人幸清会		
所在地	常陸大宮市野中町 3050-1		
担当者名・連絡先	来夢の杜大宮 施設長　　杉谷 操	TEL 0295-53-6549	
従業者	従業者総数 １５人（内訳：常勤 ９人　非常勤 ６人）（令和３年３月１日現在）		
うち夜勤の従業者	１日当たり事業所全体の勤務従業者数　　２人		
運営推進会議の開催日	令和３年　３　月　２５　日　（令和２年度　第６回）		
運営推進会議の構成員	所 属（団体等）名	職　名	出　欠
入居者	さざんかユニット		欠席
入居者	たんぽぽユニット		欠席
入居者の家族	ご家族代表		○
入居者の家族	ご家族代表		欠席
地域住民の代表者	野中地区　区長		欠席
地域民生委員	野中地区　民生委員		欠席
地域代表	南部地域包括支援センター	センター長	○
地域代表	南部地域包括支援センター		○
市町村職員	常陸大宮市長寿福祉課	主事	○
地域消防	常陸大宮消防本部予防課	課長補佐	欠席
地域警察	常陸大宮警察署刑事生活安全課	警部補	○
地域社協			
施設職員	来夢の杜太田	施設長	欠席
施設職員	来夢の杜大宮	施設長	○
施設職員	来夢の杜大宮	管理者	○
議題	◯活動状況の報告・その他報告事項 ◯会議出席者からの事業所の活動状況の評価 ◯事業所への要望、助言等の意見聴取		
利用状況	利用者総数　１８人　（令和３年２月１日現在）平均介護度 3.06　稼働率　100%		
	要支援１：０人	要支援２：０人	要介護１：０人	要介護２：６人
	要介護３：７人	要介護４：３人	要介護５：２人	介護認定未確定：０名
交流・行事等の実施状況 ・利用者の家族との交流内容 ・地域との交流内容 ・その他の事業　など	（直近約２か月又は前回報告以降） ・前回運営推進会議後からの事業所報告（1/11～3/15）を行った。 １月１１日　入居者様お誕生会 １月１４日　入居者様お誕生会 ユニット会議・ケアカンファレンス（たんぽぽユニット） お楽しみ献立（郷土料理巡り：愛媛県） １月１９日　お楽しみ献立（郷土料理巡り：香川県） １月２２日　ユニット会議・ケアカンファレンス（さざんかユニット） １月２７日　お楽しみ献立（郷土料理巡り：徳島県） 内部研修（テーマ：“ケアの標準化”の重要性 ～廃用症候群だけじゃなく誤用症候群にも意識を向けよう～） ２月　２日　豆まき ２月　４日　夜間想定避難訓練 訪問理美容（JB1） ２月　６日　お楽しみ献立（郷土料理巡り：高知県）		

	２月　９日　　お楽しみ献立（郷土料理巡り：福岡県） ２月17日　　お楽しみ献立（郷土料理巡り：大分県） 　　ユニット会議・ケアカンファレンス（たんぽぽユニット） ２月18日　　入居者様お誕生会 ２月20日　　入居者様お誕生会 ２月23日　　お楽しみ献立（郷土料理巡り：宮崎県） ２月25日　　ユニット会議・ケアカンファレンス（さざんかユニット） ３月　１日　　開設記念食事会 ３月　３日　　内部研修（テーマ：高齢者虐待防止について） ３月　４日　　お楽しみ献立（郷土料理巡り：熊本県） 　　内部研修（テーマ：高齢者虐待防止について） ３月　６日　　入居者様お誕生会 　　内部研修（テーマ：高齢者虐待防止について） ３月　７日　　内部研修（テーマ：高齢者虐待防止について） ３月　８日　　内部研修（テーマ：身体拘束適正化について） ３月　９日　　内部研修（テーマ：身体拘束適正化について） ３月10日　　内部研修（テーマ：身体拘束適正化について） ３月11日　　お楽しみ献立（郷土料理巡り：佐賀県） 　　ユニット会議・ケアカンファレンス（たんぽぽユニット） 屋内でも楽しみをということで始めたお楽しみ献立の「郷土料理巡り」は現在佐賀県までいっており、もうすぐ終わりとなるので新たなパターンでの提供を考えていることを伝えた。 今後の予定としてお花見を企画 目的は運動を兼ねた気分転換 注意点は感染予防のため数名ずつで数回に分けて行くことを報告した。
事故の状況	事故０件である事を報告した。
ヒヤリハット報告	（令和３年１月11日　～３月15日　）全　12件 ヒヤリハットⅠ　　12件 ヒヤリハットⅡ　　０件 落薬事故発生防止に向けた取り組み内容について伝えている。 苦情ヒヤリハット　　０件
相談・苦情の状況	（直近約２か月又は前回報告以降） 苦情　無 相談　０件　（　　）
身体拘束の状況	有：無 身体拘束等適正化委員会（直近の開催日　　令和３年11月18日　） １月は県独自の緊急事態宣言に伴い中止としている。
感染症等の発生状況	有：無
その他の報告事項	・２月に実施した避難訓練は夜間想定で、夜間の勤務者はユニット各１名となるため車いすでの避難は困難と考えシーツ搬送訓練を実施したことを伝えた。また、避難場所である野中公民館まで入居者様と一緒に歩き、避難完了するまで１０分７秒かかったことを伝えた。 ・内部研修「高齢者虐待防止」「身体拘束適正化」については複数回に分け、全職員が受講していることを報告した。

添付資料	・運営推進委員名簿 ・運営推進会議資料（R3.2 月経営会議提出） ・運営推進会議資料（R3.3 月経営会議提出） ・来夢の杜大宮通信（VOL.47） ・来夢の杜大宮通信（VOL.48） ・令和３年度　年間予定表
会議出席者より 事業所の活動状況の評価 事業所への要望・助言等	①　落薬への対応について ・施設長 ここ５ヶ月程度落薬による事故、ひやりハットⅡが出ていない状況です。実際に取り組んだ内容として、入居者様の状態把握と介助場面での個別指導です。状態把握は入居者様個人の習慣やこだわり、手首の可動域等の機能面を確認し状態に適した介助方法を統一しました。個別指導では「服薬確認をしているつもり」が多く見受けられました。物音や呼び声、他職員より声をかけられることで目線が逸れ落薬を見逃してしまう状況をつくっていたので、目線は逸らさないという意識をもって介助に当たり、他の職員は集中して介助できるようフォローする体制つくりました。落薬の危険性が高いとすぐに介助に移行するのではなく、できない部分への介助を行うことでの認知機能への働きかけや自己動作を確立することで入居者様のもっている力を活かすケアが大切だと考えています。介助時の立ち位置や錠数を分けるなどの介助方法、職員が薬に触れることなく介助すること等を統一して対応することにしました。 ・Ａ氏 ヒヤリハット内の報告から個別対応の大切さを改めて感じました。 本人の利き手を知っておくのは大切なことだと学ぶことが出来ました。 ・Ｂ氏 個別性を考えケアの標準化をしていると感じました。ここまで来るのは大変だったと思います。 ・施設長 ケアの標準化は難しいですね。服薬介助一つとってみても確認方法等個々のやり方で行っていることがわかりました。入居者様がもっている力や認知機能を把握せずに介助していると誤用症候群につながり、機能低下を招いてしまいます。そのため適切な介助方法を全職員が行えるよう個別指導を行っています。 ②　避難訓練での質疑応答 ・Ａ氏 夜間想定の避難訓練は夜実施したのですか ・管理者 夜間想定ではありますが日中実施しました。 ・Ａ氏 避難経路には街灯有りますかね。 ・管理者 少ないと思います。 ・Ａ氏 街灯が少ないのであれば、移動時足元が見えず転倒等の危険があると思います。車いすを使用して避難する方は何名ぐらいいますか。 ・施設長 車椅子を使用する方は半数程度いらっしゃいます。 ・Ａ氏 安全確保の観点から移動は車いすを使用するのが良いと思われます。 ・管理者 そうですね。今後の避難訓練で取り入れていきたいと思います。 ・施設長 大切なのは実際の火災発生時にスムーズに行動できるかどうかだと思います。いろいろなパターンを想定し訓練を実施するのも良いと

	思われますが、同じ流れで継続的に実施していくことで流れや役割を把握し、スムーズに動けるようにしていきます。 ③　委員より確認事項 ・Ａ氏 コロナウイルス感染拡大で運動する機会が減ったということで、前回の運営推進会議にてご紹介させていただいた YouTube で見られる認知症予防等のフロイデ体操はどうでしたでしょうか。 ・施設長 動画を見させていただきました。入居者様にはついていける方、ついて行けない方がいたので現在はストレッチメインで体操を行っています。 ・Ａ氏 見ていただけたんですね。機能維持につなげられるよう今後も参考にしてください。 ・施設長 先日、小林さんから頂いた感染拡大防止のための身体拘束についての情報を確認させていただきました。選択肢の一つとして考えていかなければならないことだと感じました。悪い状況も想定し事前に体制を構築していくことが大切であるので、スムーズに行動できるよう具体的な形としていきます。 ・Ａ氏 そうですね。身体拘束は慎重に考え、適正に進めていくことは大切だと思います。 ④　新型コロナウイルス感染対策（ワクチン接種）について ・施設長 来夢の杜大宮では協力病院である根本医院の医師に来ていただきワクチン接種を行う予定になっています。また、避難訓練については利用者が起きてくるのは待てないので職員には命を優先するよう伝えています。身体で覚えるではないですがこれからも同じパターンで訓練を行っていきます。 ・Ｃ氏 新型コロナウイルスワクチン接種について、４月２週目より開始予定となっていますが 26 日の説明会で詳しい話があると思います。 ・Ｂ氏 新型コロナウイルスワクチン接種を施設で行うという事で、アナフィラキシーショック等起きた時の対応は考えていますか。 ・施設長 ワクチン接種後の副反応もありますので、どのように接種していくのかを根本医院と話し合っていく予定ですので、その件も含め具体的に考えていきます。 ⑤　講話 　常陸大宮警察署より「不審者の対応について」 （防犯について） ・生活安全課の仕事 児童を含む虐待の捜査、相談 ＤＶ、ストーカー 少年犯罪、条例での取り締まり ・茨城県の犯罪情勢 令和２年の刑法犯 13301 件で前年度と比較し 4011 件減っている。ここ数年、毎年減ってきているが殺人や強盗などの凶悪犯が減っている訳ではなく大きく減っているのは窃盗犯である。 ニセ電話詐欺については、茨城県で 65 歳以上の方をねらい 306 件、

	５億５千万円の被害額となっている。 ・常陸大宮市の犯罪情勢 令和２年の刑法犯 158 件で前年度と比較し 48 件減っている。 車上狙い、万引き、自動販売機荒らし、すりが大きく減少している。 しかし、空き巣が大きく増加しており 19 件、ニセ電話詐欺についても５件発生しており、被害額は合計数百万円となっている。 ・防犯について 施設での防犯が懸念されるところは、不審者に侵入された場合にどうすれば良いか。犯人は何が目的で侵入してくるのか。 考えられる事として、施設・入居者に対する恨みがあることや 不審者の侵入が考えられる。侵入防止を第１に考えると対応策は施錠して部外者を一切中に入れないのが良いと考えられる。いろんな方が自由に出入りできると危険度は増すので、しっかりとした対応が必要となる。ただ、安易に施錠できない時は防犯カメラの設置が良い。 台数や設置場所、カメラのグレードを考え死角なく映像を捉えることができれば不審者の侵入を早く知ることができ、避難や 110 番することが出来る。また、不審者から見てもしっかりと防犯対策をしているから入りにくいと判断されるので効果的である。 不審者は玄関から来るばかりではない。窓ガラスを割って侵入してくるかもしれないので、窓ガラスを針金入りにする、強化ガラスにすることも重要となる。 ・不審者に入られてしまったら 逃げるのが１番である。利用者を先に逃がす方法を考える。不審者は何を持っているか分からないため、サスマタとよばれる道具が有効である。サスマタは１本では効果がなく 2～3 本準備し多方向から使用し不審者を倒す。膝裏を押せば大柄な男性も体制を崩してしまう。 一本だと力のある男性だと逆に職員が倒されてしまうかもしれない。 また、催涙スプレーも有効で警察でも使用しているが、安易に使用すると過剰防衛となってしまうこともあるので注意が必要である。 サスマタや催涙スプレーがない時には、椅子等の家具でも多少対応は出来る。 素手で向かっていくのは絶対に避けるようにしてほしい。 重要なのは、意識！ 常に防犯意識を持ってすぐ行動できるよう職員の役割分担を決め訓練する必要がある。 ・施設長 椅子の使用と話がありましたが、使い方は背もたれ側をもって椅子の足を不審者に向けるのでよろしいでしょうか。 ・警察署 そうですね。施設にあるのはパイプ椅子じゃないですよね。４本足が分かれている椅子であれば、サスマタと同じような使用方法となります。 ・施設長 神奈川県等の施設でも実際に事件は起きていることから他人ごとではないと思い今回の講話を企画しました。ありがとうございました。